

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3054646号

(45) 発行日 平成10年(1998)12月8日

(24) 登録日 平成10年(1998)9月24日

(51) Int.Cl.⁶

H 0 4 R 1/10

識別記号

1 0 4

F I

H 0 4 R 1/10

1 0 4 E

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願平10-4332

(22) 出願日 平成10年(1998)6月3日

(73) 実用新案権者 000234937

八重洲無線株式会社

東京都大田区下丸子1丁目20番2号

(72) 考案者 飯東 嘉庸

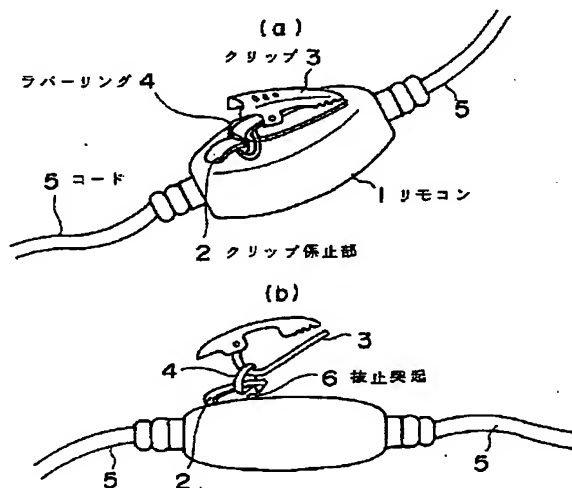
東京都大田区下丸子1丁目20番2号 八重洲無線株式会社内

(54) 【考案の名称】 携帯用電子機器のコード付きリモコンの保持構造

(57) 【要約】

【課題】 携帯用電子機器のコード付きリモコンを衣服に装着するのにリモコンがその位置で、かつ、リモコンの向きや位置をある程度自由に動ける装着構造を提供する。

【解決手段】 携帯用電子機器からコード5で接続したマイクロホンやイヤホンを制御するリモコン1に衣服に装着するクリップ3をラバーリング4によりリモコン1のクリップ係止部2に挿通し、ラバーリング3はクリップ係止部2と抜止突起6により保持された構造である。



BEST AVAILABLE COPY

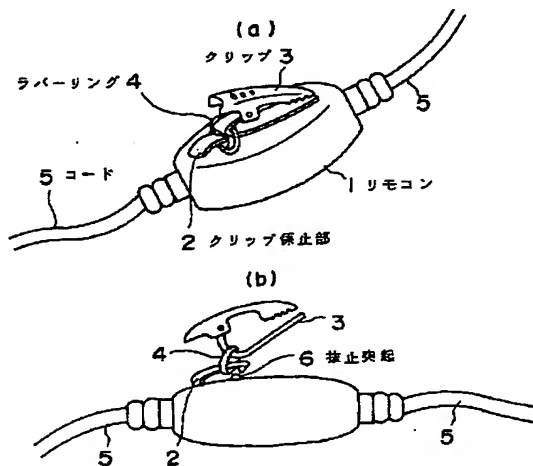
【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 電子機器のイヤホンやマイク用のコード付きリモコンの保持構造であって、コード(5)に設けたリモコン(1)に、該リモコン(1)を衣服等に保持させるためのクリップ(3)を付けたラバーリング(4)を着脱できるクリップ係止部(2)と、ラバーリング(4)が装着された状態で簡単に抜けるのを防止する抜止突起(6)とを設けた構造により、リモコン

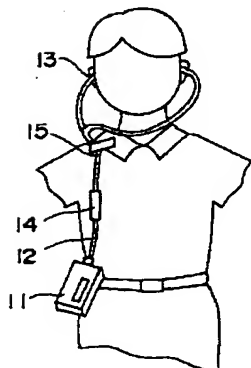
(1)のクリップ(3)が衣服に装着した状態でもラバーリング(4)による柔軟性とクリップ係止部(2)との遊びの範囲内でリモコン(1)の装着方向を自由に変えられることを特徴とする携帯用電子機器のコード付きリモコンの保持構造。

【図面の簡単な説明】

【図1】



【図3】



【図1】本考案の一実施例を示す携帯用電子機器のリモコン部分の斜視図(a)と、側面図(b)である。

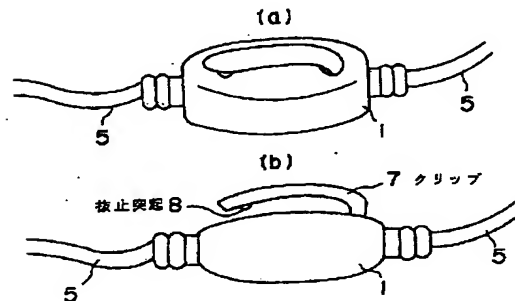
【図2】従来技術の携帯用電子機器のリモコン部分の斜視図(a)と、側面図(b)である。

【図3】従来技術のテープレコーダを身に付けた状態を示す図である。

【符号の説明】

- | | |
|---|---------|
| 1 | リモコン |
| 2 | クリップ係止部 |
| 3 | クリップ |
| 4 | ラバーリング |
| 5 | コード |
| 6 | 抜止突起 |

【図2】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

携帯用電子機器で衣服等に装着するコード付きリモコンの保持構造に関する。

【0002】

【従来の技術】

テープレコーダや携帯用無線通信機等で使用する。イヤホンやマイクロホンの制御用のリモコンを備えている。これらの機器本体はベルトクリップ等で腰に付いたりポケットに入れて使用するが、イヤホンは耳に挿入して使用するのでコードの途中に設けられたリモコンの重みでイヤホンが耳から抜け落ちることもあり常に注意を払わなければならない。

【0003】

図3は従来の技術に基づくテープレコーダの使用状態を示す図である。図において、11はベルトに付けたテープレコーダ、12はイヤホンコード、13はイヤホン、14は音やテープの進行を調整するリモコン、15はイヤホン13とリモコン14の中間に取り付けて、襟などを挟んで取り付けるクリップで、イヤホンコード12やリモコン15等の重さを軽減させ、リモコン14の揺れにも耐えられるものである。

【0004】

図2は従来技術の他の実施例としてリモコンを衣服等に固定させる構造のリモコンの斜視図である。図において1はリモコン、7はクリップ、8は抜止突起である。このリモコン1はプラスチック等で形成し、クリップ7はその素材の弾力性による撓みを利用して衣服のポケットや胸元に差し込み衣類をリモコン1とクリップ7で挟む、衣服の厚みにより抜け落ちやすいことがあるので、抜止突起8が設けてあり、衣服にしっかり固定される。この場合固定された状態になるので、衣服が引き寄せられたり、リモコン1の操作がしづらい状態になることがある。

【0007】

【考案が解決しようとする課題】

携帯用電子機器でイヤホンやマイクロホンのコードに設けたリモコンの重みを

軽減するためにリモコンとイヤホンを接続したコードの間にクリップを設けたり、リモコンに直接クリップを設けていたが、リモコンとイヤホンの中間の場合はリモコンが揺れたりして操作しづらい場合があり、直接リモコンに付けた場合は、リモコンの位置は安定するが、衣服が引き攀れたり、リモコンの衣服に装着した向きによっては操作がしづらくなる。本考案はこのような問題を解決して、操作位置が安定しかつ、衣服の引き攀れも生じないだけでなく操作も安定に行える携帯用電子機器のコード付きリモコンの保持構造の提供を目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】

電子機器のイヤホンやマイク用のコード付きリモコンの保持構造であって、コード5に設けたリモコン1に、該リモコン1を衣服等に保持させるためのクリップ3を付けたラバーリング4を着脱できるクリップ係止部2と、ラバーリング4が装着された状態で簡単に抜けるのを防止する抜止突起6とを設けた構造により、リモコン1のクリップ3が衣服に装着した状態でもラバーリング4による柔軟性とクリップ係止部2との遊びの範囲内でリモコン1の装着方向を自由に変えられることを特徴とする携帯用電子機器のコード付きリモコンの保持構造である。

【0009】

【考案の実施の形態】

図1は本考案による一実施例の携帯用電子機器用リモコンの構造を示す図で、図1(a)は斜視図であり、図1(b)は側面図である。図について説明する。1は不図示の携帯用電子機器操作の一部を制御するリモコンである。2はクリップ係止部、3はクリップ、4はラバーリングである。5は携帯電子機器と不図示のイヤホンやマイクロホンを手モコン1を介して接続するコードである。

【0010】

携帯用電子機器をベルトに装着するか、ポケットやカバンに入れて動作させる場合にリモコン1は操作しやすい位置で、例えば胸の位置で襟にクリップ3を装着する。クリップ3はラバーリング4によりリモコン1のクリップ係止部2に挿通してあるのでほぼ位置が確定する。しかし、ラバーリング4を介在させたためにリモコン1の取付方向や位置は、クリップ3とリモコン1にかかる力関係に依

じてラバーリングはクリップ係止部2と抜止突起6による摺動可能範囲を自由に動き、かつ、ラバーリング4の振れとで自由な向きを可能にし、挟んだ襟に負担を掛けない。

【0011】

【考案の効果】

携帯用電子機器のコード付きリモコンに、衣服に装着するクリップをラバーリングに装着して、リモコンのクリップ係止部に取り付けることでラバーリングの弾性力と取り付け状態の遊びの範囲内でクリップが自由に向きが変えられるので操作設定においても無理がなく、衣服も引き攀れることがないので利用効果が高い。